

戦場体験放映保存の会 2021年総会 議案書

社団法人マスコミ世論研究所における「戦場体験放映保存の会」の2021年度の活動方針をお諮りします。

1. 戦場体験記録の収集

[1] 戦場体験の記録を後世に伝え残すために、体験者世代による証言記録(手記、日記、著作、絵画、戦友会の冊子など)や当時の資料(書類や写真など)を収集します。

[2] 戦場体験のインタビュー記録の収集のため、以下の活動を行います。

コロナの感染状況の間隙を縫って、情報があれば全国どこにでもすぐに会いに行くことを徹底する。
95歳以上の男性人口約11万、そのうち体験談を語れる方は数万と推定。女性人口は49万人。

① 体験者の掘り起し	・ 地方紙やミニコミの戦後 75 年関連記事の洗い出しを行う。
② 戦場体験を放映保存する老若の全国キャラバン隊(継続)	・ 新たにボランティアが名乗りをあげてくれた近畿、四国。 ・ 昨年に引き続き、鹿児島、富山へ。7月頃に沖縄へ。
③ 他団体との連携	・ 「富山空襲を語り継ぐ会」、「ヒロシマ連続講座」からの証言記録依頼を頂いている。 ・ 証言記録を行っていない団体から、体験者を紹介される事例が増えており、広く対応する。
④ 孤児、引揚者、銃後の体験者への聞き取り	・ 聞き取り機会は自然増加しており今後も継続。 特に 90 代以上の女性の聞き取りは積極的に行う。

2. 戦場体験資料の公開、継承 [戦場体験史料館・電子版 <http://www.jvvap.jp>]

[1] 史料館収蔵数の増加 目標: 延べ450名の体験談掲載、うち100名の証言映像公開

[2] 内容の拡充 ① 手記・地図・写真資料の検索性を向上 ② 多言語化

[3] 他団体との連携 各地の戦跡や資料館に、関連する体験談の視聴用 QR コードを配布

[4] 語り継ぐ活動 元兵士世代・銃後世代から広く社会に戦場体験を伝えます。

活動	イベント日程	会場
① 戦場体験者と出会える茶話会	9月25日(土)・26日(日) ※9月23日(木・祝)にプレ・イベントを開催	きゅりあん (東京大井町)
② ウェブ茶話会	5月8日(土)・9日(日) 6月26日(土)・27日(日)頃 ※沖縄戦・沖縄県人の体験談、都内に視聴会場を設ける 8月7日(土)～9日(月・祝)頃 10月頃 12月11日(土)・12日(日)	インターネット 配信
③ オーダーメイド型ウェブ茶話会	随時。友人やご近所、学校、ご家族など少人数での開催のご要望に応える	インターネット 配信
④ 他団体との交流イベント	8月21日～23日: 戦争遺跡保存全国ネットワーク(シンポ) 8月23日～25日: ZOOM で読むシベリア抑留者名簿	東京・東大和市 インターネット配信

【ご協力をお願いしたいこと】 案内をお送りできる個人・団体をご紹介ください。チラシをお送りします。

3. 戦場体験放映保存運動に関する広報活動

「史料館つうしん」の発行 5～6月、8月、11月、2～3月の4回発行を計画

メルマガの発行 随時。保存の会ホームページ(<https://jvvap.jp>)からご登録ください。